【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の４の７第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年８月８日
【四半期会計期間】	第21期第２四半期（自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
【会社名】	アークランドサービス株式会社
【英訳名】	ARCLAND SERVICE CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　臼井 健一郎
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田駿河台四丁目３番地 新お茶の水ビルディング14階
【電話番号】	０３（５２１７）１５３１（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長　玉木 芳春
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区神田駿河台四丁目３番地 新お茶の水ビルディング14階
【電話番号】	０３（５２１７）１５３１（代表）
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長　玉木 芳春
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

第一部【企業情報】

第１【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第２四半期連結 累計期間	第21期 第２四半期連結 累計期間	第20期
会計期間	自平成24年 １月１日 至平成24年 ６月30日	自平成25年 １月１日 至平成25年 ６月30日	自平成24年 １月１日 至平成24年 12月31日
売上高（千円）	6,144,046	6,972,030	12,797,454
経常利益（千円）	1,012,724	1,064,231	2,013,798
四半期（当期）純利益（千円）	582,694	621,618	1,111,674
四半期包括利益又は包括利益（千円）	582,687	621,718	1,111,734
純資産額（千円）	5,094,231	6,084,203	5,623,240
総資産額（千円）	7,170,378	8,430,227	8,018,054
１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	82.55	88.06	157.49
潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額（円）	―	―	―
自己資本比率（%）	71.0	72.2	70.1
営業活動によるキャッシュ・フロー（千円）	848,530	694,513	1,759,016
投資活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△353,940	△355,373	△713,128
財務活動によるキャッシュ・フロー（千円）	△23,814	△87,752	△33,501
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高（千円）	3,065,649	3,860,048	3,607,328

回次	第20期 第２四半期連結 会計期間	第21期 第２四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 ４月１日 至平成24年 ６月30日	自平成25年 ４月１日 至平成25年 ６月30日
１株当たり四半期純利益金額（円）	38.80	42.74

（注）１．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
２．売上高には、消費税等は含まれておりません。
３．当社は平成24年９月１日付で普通株式１株につき３株の株式分割を行いましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり四半期（当期）純利益金額を算定しております。
４．潜在株式調整後１株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第２四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第２【事業の状況】

１【事業等のリスク】

当第２四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

２【経営上の重要な契約等】

当第２四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

３【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による大胆な経済政策や日本銀行による質的・量的金融緩和政策への期待感を背景として、円安株高が進行し、先行きの景況感には明るさが見られました。しかしながら、実体経済への波及はいまだ十分ではなく、長期化している個人消費の低迷や持続する厳しい雇用情勢、金融市場の乱高下や欧州債務問題など懸念等があり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、国内の市場規模に拡大が見られない中、消費者の低価格志向や中食傾向、さらには食材価格の上昇など、大変厳しい経営環境となりました。

このような環境の中で、当社グループは、「かつや」の平均月商の引き上げへの施策の実施と、出店加速に向けて取り組んでまいりました。

既存店につきましては、「かつや」において５回のフェアメニューの投入と５回のキャンペーンを実施した結果、１～６月の既存店売上高前年比は、直営店102.9%、ＦＣ店102.5%と好調に推移いたしました。また、既存店５店舗の「かつ弁併設型」への大規模改装を実施いたしました。

出退店につきましては、「かつや」を直営店４店舗（ＦＣ店からの営業譲渡１店舗含む）、ＦＣ店12店舗（海外２店舗含む）出店したことにより、直営店２店舗の閉店はありましたが、「かつや」の当第２四半期末の店舗数は、純増14店舗の223店舗となりました。その他の業態につきましては、「チェントペルチェント」と「新橋岡むら屋」を各１店舗出店いたしましたが、「とん菜や」と「タヴェルナ ダ ビゴット」を閉店したことにより、当第２四半期末の店舗数は10店舗となりました。

なお、第１四半期連結累計期間より、関連会社のサト・アークランドフードサービス株式会社を持分法適用会社といたしました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高6,972百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益1,042百万円（前年同期比7.0%増）、経常利益1,064百万円（前年同期比5.1%増）、四半期純利益621百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

なお、当社グループは外食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して252百万円増加し、3,860百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、694百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,015百万円、現金支出を伴わない減価償却費119百万円、和解金の受取額66百万円があったものの、法人税等の支払額が548百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、355百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出256百万円、敷金及び保証金の差入による支出142百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、87百万円（前年同期比268.5%増）となりました。

これは主に、預り保証金の受入による収入58百万円があったものの、配当金の支払額141百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第２四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第３【提出会社の状況】

１【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	24,600,000
計	24,600,000

②【発行済株式】

種類	第２四半期会計期間末現在発行数（株）（平成25年６月30日）	提出日現在発行数（株）（平成25年８月８日）	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	7,374,000	7,374,000	東京証券取引所 ＪＡＳＤＡＱ （スタンダード）	単元株式数 100株
計	7,374,000	7,374,000	―	―

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高（株）	資本金増減額（千円）	資本金残高（千円）	資本準備金増減額（千円）	資本準備金残高（千円）
平成25年４月１日～平成25年６月30日	―	7,374,000	―	456,320	―	408,562

(6) 【大株主の状況】

平成25年６月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アークランドサカモト株式会社	新潟県三条市上須頃445番地	4,860,000	65.91
野村信託銀行株式会社（投信口）	東京都千代田区大手町二丁目２番２号	284,800	3.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	東京都中央区晴海一丁目８番11号	200,000	2.71
臼井 健一郎	東京都世田谷区	150,000	2.03
伊藤 昭	埼玉県北葛飾郡杉戸町	60,000	0.81
玉木 芳春	東京都府中市	54,000	0.73
MSIP CLIENT SECURITIES （常任代理人 モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社）	25 CABOT SQUARE, CANARY WHARF, LONDON E14 4QA, U.K. （東京都渋谷区恵比寿四丁目20番３号恵比寿ガーデンプレイスタワー）	51,800	0.70
石村 藤夫	愛媛県新居浜市	45,600	0.62
伊藤 永	埼玉県三郷市	42,000	0.57
株式会社ＳＢＩ証券	東京都港区六本木一丁目６番１号	41,600	0.56
計	―	5,789,800	78.52

（注）１．上記のほか、自己株式が315,143株あります。
２．上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は次のとおりであります。
野村信託銀行株式会社（投信口） 284,800株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） 184,000株

(7)【議決権の状況】

①【発行済株式】

平成25年６月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	－	－	－
議決権制限株式（自己株式等）	－	－	－
議決権制限株式（その他）	－	－	－
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式　315,100	－	－
完全議決権株式（その他）	普通株式 7,057,900	70,579	－
単元未満株式	普通株式　1,000	－	－
発行済株式総数	7,374,000	－	－
総株主の議決権	－	70,579	－

②【自己株式等】

平成25年６月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
アークランドサービス株式会社	東京都千代田区神田駿河台四丁目３番地 新お茶の水ビルディング14階	315,100	－	315,100	4.27
計	－	315,100	－	315,100	4.27

２【役員の状況】

該当事項はありません。

第４【経理の状況】

１．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

２．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、第２四半期連結会計期間（平成25年４月１日から平成25年６月30日まで）及び第２四半期連結累計期間（平成25年１月１日から平成25年６月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,607,328	3,860,048
売掛金	476,107	452,510
商品	89,522	86,262
原材料及び貯蔵品	36,852	22,098
その他	318,021	307,452
貸倒引当金	△2,400	△2,200
流動資産合計	4,525,432	4,726,171
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,446,534	1,607,343
その他（純額）	160,466	168,455
有形固定資産合計	1,607,001	1,775,798
無形固定資産	6,045	5,318
投資その他の資産		
敷金及び保証金	974,302	974,254
建設協力金	559,186	618,532
その他	346,084	330,151
投資その他の資産合計	1,879,574	1,922,938
固定資産合計	3,492,621	3,704,055
資産合計	8,018,054	8,430,227
負債の部		
流動負債		
買掛金	627,948	553,306
未払法人税等	563,147	425,926
賞与引当金	―	36,326
その他	623,705	692,796
流動負債合計	1,814,801	1,708,355
固定負債		
受入保証金	399,600	447,992
資産除去債務	180,114	189,585
その他	296	89
固定負債合計	580,011	637,668
負債合計	2,394,813	2,346,024

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	456,320	456,320
資本剰余金	408,562	408,562
利益剰余金	4,837,207	5,298,070
自己株式	△78,870	△78,870
株主資本合計	5,623,219	6,084,082
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	20	120
その他の包括利益累計額合計	20	120
純資産合計	5,623,240	6,084,203
負債純資産合計	8,018,054	8,430,227

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日)
売上高	6,144,046	6,972,030
売上原価	2,515,404	2,960,044
売上総利益	3,628,642	4,011,985
販売費及び一般管理費	※ 2,653,782	※ 2,969,257
営業利益	974,860	1,042,727
営業外収益		
受取利息	5,331	6,988
協賛金収入	24,897	10,045
雑収入	9,450	8,092
営業外収益合計	39,679	25,125
営業外費用		
持分法による投資損失	―	2,647
雑損失	1,815	974
営業外費用合計	1,815	3,621
経常利益	1,012,724	1,064,231
特別利益		
固定資産受贈益	―	5,130
受取和解金	54,491	―
その他	―	743
特別利益合計	54,491	5,873
特別損失		
固定資産除却損	25,686	12,835
店舗閉鎖損失	11,569	41,457
減損損失	17,815	―
その他	6	―
特別損失合計	55,077	54,292
税金等調整前四半期純利益	1,012,137	1,015,812
法人税、住民税及び事業税	436,384	412,002
法人税等調整額	△6,940	△17,809
法人税等合計	429,443	394,193
少数株主損益調整前四半期純利益	582,694	621,618
四半期純利益	582,694	621,618

【四半期連結包括利益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	582,694	621,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	―
為替換算調整勘定	△46	99
その他の包括利益合計	△6	99
四半期包括利益	582,687	621,718
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	582,687	621,718
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,012,137	1,015,812
減価償却費	108,864	119,175
固定資産除却損	25,686	12,835
店舗閉鎖損失	11,569	41,457
減損損失	17,815	―
受取和解金	△54,491	―
賞与引当金の増減額（△は減少）	37,286	36,326
受取利息	△5,331	△6,988
売上債権の増減額（△は増加）	9,539	24,420
たな卸資産の増減額（△は増加）	21,642	18,210
その他の資産の増減額（△は増加）	21,105	10,457
仕入債務の増減額（△は減少）	△56,159	△75,007
その他の負債の増減額（△は減少）	△4,495	△19,395
その他	△93	△3,916
小計	1,145,076	1,173,387
利息の受取額	1,464	2,703
和解金の受取額	―	66,500
法人税等の支払額	△298,010	△548,077
営業活動によるキャッシュ・フロー	848,530	694,513
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△163,564	△256,901
関係会社株式の取得による支出	△102,018	―
関係会社預け金の預入による支出	△2,000,000	△2,500,000
関係会社預け金の払戻による収入	2,000,000	2,500,000
敷金及び保証金の差入による支出	△102,495	△142,982
敷金及び保証金の回収による収入	14,076	40,477
その他	60	4,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,940	△355,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
預り保証金の受入による収入	95,533	58,690
預り保証金の返還による支出	△1,700	△5,265
配当金の支払額	△117,648	△141,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,814	△87,752
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	1,332
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	470,728	252,719
現金及び現金同等物の期首残高	2,594,920	3,607,328
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 3,065,649	※ 3,860,048

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

（持分法適用範囲の重要な変更）

第１四半期連結会計期間より、サト・アークランドフードサービス㈱は重要性が増したため、持分法適用の範囲に含めております。

【会計方針の変更】

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

【注記事項】

（四半期連結損益計算書関係）

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
給与・雑給	1,043,526千円	1,161,807千円
賃借料	496,238	536,926
賞与引当金繰入額	37,286	36,326

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
現金及び預金勘定	3,065,649千円	3,860,048千円
現金及び現金同等物	3,065,649	3,860,048

（株主資本等関係）

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）

１．配当に関する事項

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年３月23日定時株主総会	普通株式	117,648	50	平成23年12月31日	平成24年３月26日	利益剰余金

２．株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）

１．配当に関する事項

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年３月22日定時株主総会	普通株式	141,177	20	平成24年12月31日	平成25年３月25日	利益剰余金

（注）当社は、平成24年９月１日付で株式１株につき３株の株式分割を行っております。

２．株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）

当社グループにおいては、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）

当社グループにおいては、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（金融商品関係）

前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められないため、記載を省略しております。

（有価証券関係）

有価証券は当社グループの事業の運営において重要なものでないため、記載を省略しております。

（デリバティブ取引関係）

当社グループは、デリバティブ取引を行っておりませんので該当事項はありません。

（１株当たり情報）

１株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年１月１日 至 平成25年６月30日）
１株当たり四半期純利益金額	82円55銭	88円06銭
（算定上の基礎）		
四半期純利益金額（千円）	582,694	621,618
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る四半期純利益金額（千円）	582,694	621,618
普通株式の期中平均株式数（株）	7,058,886	7,058,857

（注）１．当社は、平成24年９月１日付で株式１株につき３株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

２．潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

２【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年８月８日

アークランドサービス株式会社
　取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	加藤 真美　印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	中村 明彦　印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の２第１項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアークランドサービス株式会社の平成25年１月１日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第２四半期連結会計期間（平成25年４月１日から平成25年６月30日まで）及び第２四半期連結累計期間（平成25年１月１日から平成25年６月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任
経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任
当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。
四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論
当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アークランドサービス株式会社及び連結子会社の平成25年６月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第２四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係
会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）１．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
２．四半期連結財務諸表の範囲にはＸＢＲＬデータ自体は含まれていません。